

2017 年 3 月 2 日

NPO 法人 ICT 救助隊

理事長 今井啓二

〒142-0063 東京都品川区荏原 5-5-3-102

Tel 03-3727-0479

実 施 報 告 書

【難病コミュニケーション支援講座 森ノ宮医療大学】

日時：2017 年 2 月 18 日（土）10：00～17：00、 2 月 19 日（日）9:00～12:00 森ノ宮医療大学

会場：森ノ宮医療大学 作業療法棟（C 棟）5 階作業療法学科実習室 556

（大阪市住之江区南港北 1-26-16）

定員 30 名

内訳：作業療法士 16 名、理学療法士 3 名、言語聴覚士 1 名（アンケート回答より）

年齢：20 代以下 0 名、20 代 3 名、30 代 7 名、40 代 10 名、50 代以上 1 名（アンケート回答より）

主催：koba labo（代表：小林貴代）

共催：NPO 法人 ICT 救助隊

協力：NEC CSR 社会貢献室

【プログラム】

<18 日>10：00～17：00

ステップアップ研修の目的と支援の実際

コミュニケーション周辺機器製作演習

・接点型スイッチ・スイッチコントローラー（ブルートゥース対応）・ワイヤレスコイル・ipad タッチャー等々予定

{参加者決定次第詳細については参加者に別途案内予定（材料費実費）}

<19 日>9:00～12:00

作成した機器を使用しての操作

当事者からのメッセージ：久保りえさん

タブレット関連・視線入力等、体験&情報提供

【写真】

はんだ付けの基本 奈良高専小坂先生



工作実習



工作実習



スイッチでおもちゃを動かす



当事者からの報告 Skype 参加



タブレット操作



最初の質問のみ、講座を受ける前にお答えください。

患者さんへのコミュニケーション機器の導入で、どのようなことに困っていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. どのような機器があるのかを知らない。－12

2. 機器の使い方がわからない。－15

3. 患者さんがコミュニケーションに積極的でない。－5

4. 患者さんのご家族がコミュニケーションに積極的でない。－2

5. 時間がない・時間がかかる。－8

6. その他－6

- ・コミュニケーション支援のイメージがつかない方があり導入に至らない。費用負担や手間を嫌がられる。
- ・機器が手元にないので試すまでに時間を要する。患者さんに適したスイッチの選定、制作。
- ・利用者さんごとにどの機器が適しているか、また利用者さんの特性に合わせて改造するスキルがない。
- ・ハーティリーダーをお使いのご利用者様に様々なトラブルの相談を受けることがあります。細かな設定や不具合の原因がソフトウェアなのか、私物のPCなのか、スイッチなのか、原因を探ったり、テクニカルな知識不足で対応に難儀し、他の支援者の方々はどうされているのか、とても関心があります。
- ・年配のヘルパーさんはパソコンと聞いただけで、拒否反応を示す。
- ・いろんなニーズに対応できるPCや機器についての知識量が少ない。
- ・iPadなどのスイッチ操作や設定などを自身が分かっていない。(今日の話をまず習得します。)
- ・入院中に機器導入され、使える環境にある方でも、使おうとされない方がいる。

2. どんなことを期待して講座を受講されましたか？

- ・支援に関しての知識や経験がまだ少なく、情報得る機会としたいと思いました。
- ・スイッチ作成方法、物品を知り、覚え、実践できるようになること。
- ・自分が知らないことを多く気づくため。
- ・患者の訴えや反応など少しでも理解できるようになりたい。
- ・スイッチなどもまずは仕組みを理解し作成(修理)できるようになりたい。
- ・様々なニーズの患者様に対応できるようなコミュニケーション支援や技を習得したい。
- ・訪問看護に携わらせていただいて半年となり、今まで直面することが少なかったコミュニケーションに対しての問題が生じることがあり、どのような手段で支援、指導ができるのか知識を得たいと思い受講させていただきました。
- ・どんなコミュニケーション機器があるのかわからなかったのと、使い方についてもいまいちだった部分があった。スイッチの制作は1、2回作ったことがあったけど、ただ言われてハンダ付けしてただけだったので、基盤のどこに電気が通るとか、初めから作ってみて、わかりやすくて、少しだけスイッチ制作に自信がつかしました。
- ・重症児童に対するコミュニケーション、遊びの支援を行うこと。
- ・自分には機器に関する絶対的な知識が乏しく、いろいろ調べたりしても自分もどのように考えて利用者様に提供できるかと模索していました。より多くの知識を深めて、引き出しの中身を多くできたらと思って参加させていただきました。

- ・スイッチの制作方法が知りたかった。様々な方とつながって、色々と相談させていただくつながりが作りたかった。近くで働いている方に出会いました。
- ・コミュニケーション支援について基本の確認。支援する人への伝え方のノウハウ、ハウツーなど。他の受講者との情報交換。
- ・スマホやタブレットを使用している難病の利用者がいるので、その方々により使いやすい使用方法が提案できるような知識、技術を身に付けたい。
- ・スイッチ作成技術の向上。
- ・いろいろなコミュニケーション周辺機器を見て、今後の支援の参考にしたい。
- ・現在受け持ちの利用者さんの現場のコミュニケーション、楽しみであるスマートフォン、タブレットの操作などがもっと楽にストレスなく行える方法のヒントを得るため。
- ・今後出会うであろう利用者さんのお困り事が少しでも解消されるよう提案できる自分の引き出しを増やしたいため。
- ・スイッチの適合やコールの評価等、導入においての評価、備品の不足や作成方法の知識が不十分であったため、今回の講座で体験させていただき、作成技術と作成できるものの幅を広げて行けたらと思っています。
- ・コミュニケーション支援についてどんな種類があり、どんなふうに使われているのか。
- ・コミュニケーション機器に関する情報を得て、患者さんのコミュニケーションエイドを考えると自分の「引き出し」を増やすこと。「スイッチ」の作り方を知る。
- ・スイッチの改造。
- ・はんだごての操作も含めて、スイッチ等の作成、スキルアップ。他の人との交流。
- ・支援で困っている事を減らせるために。いろんな他の OT や職種さんとのつながりを持てるように。
- ・スイッチなどの制作は私には無理だという気持ちがありました。だからこそ 1 回！！と思いました。また、頸椎損傷の方に iPad 導入し、今実際に使っていく上で分からないことも多かったのもので、それを知りたいと思いました。
- ・支援時の対象者の方の状態の変化に迅速に対応できるよう(特にスイッチのフィッティング)になりたかった。最新の知識、機器情報を知りたかった。
- ・スイッチの作成。
- ・様々な外部入力の種類。
- ・横とのつながり。
- ・機器の知識を深める。
- ・利用者さんにどんな道具が使えるか。どんな生活をしていただけるか。

3. 受講しての感想、聞きたかったことなどをお書きください。

- ・具体的に表示距離、読み上げスピード、合図など実際のやりとりを見ながらなので分かりやすかったです。自分が読み取ろうとすると難しく感じました。「支援者の皆様、どうぞあきらめないでください」との言葉のように、練習してステップアップ。コミュニケーションをとっていきたいと思いました。
- ・理解できたこと、できなかったことを含め、充実しました。自分のしていることの幅の狭さを痛感するとともに、視野、視点を広げるチャンスをいただき、横のつながりもできました。
- ・コミュニケーションツールに対しての知識もそうですが、OT としての視点や話し方、使い方などもすごく

参考になりました。もっともっと、悩みの相談がみんなのできるようになるくらい関わっていきたいです。

・今までスイッチ等に関わることがありませんでしたが、今回この研修を受けたことでコミュニケーションの奥の深さを知ることができました。コミュニケーションに対して今まで少し避けていたところもありましたが、今回得ることができた知識でいろいろチャレンジしていきたいと思いました。

・1日目はスイッチが作れたことが感動でした。2日目の最後に、何でもスイッチや機器を導入するのじゃなくて、基本的なコミュニケーションをとることというのを忘れてしまっていたと思いました。

・ALSの方が口文字を利用して、コミュニケーションをとっており、とても便利だと言われていたことに驚きました。口文字が出来るようになっていきたいと思いました。

・製作時間を長く設定していただいていたので、作り方を理解しながらゆっくり制作できた。ただ、製作個数が多い人は時間が足りず、未完成で終わってしまったのが残念でした。

・スマホをスイッチでコントロールできる方法を知ることができて、利用者に提案してみたいと思います。

・いろいろなスイッチ、機器を見ることができてよかったです。

・今回初めてスイッチの制作をさせていただきました。製作キットがそれぞれ何の目的のものか正直わからなかったものもあったので、それぞれについて簡単にでも説明があると選択しやすかったように思います。

・はんだごての使用経験はあったのですが、我流でしたので今回コツなども詳しく教えていただき参考になりました。

・アクセシビリティの充実さにただただ驚きでした。さらに進化していると知りびっくりでした。

・普段コミュニケーション支援をさせていただく際に、コールやスイッチなども提案する際に、金銭的な理由などから、既製品のご紹介、導入に至るまでに時間を要したり、希望されない方がおられます。また迅速に評価したい時にものがないということもあり、支援のタイムラグが生じることがあります。今回、様々なものを作成する技術やその安全性を高めるための基礎的な注意点を交えて教えていただいたことで、ご利用者様の希望や状態に合わせて素早い評価、提案ができるようになるのではないかと思います。また機器類だけでなく、文字盤の活用を提案するのですが、支援者側の苦手意識から導入に至らないケースがあります。今回分かりやすいテキストでご紹介いただいたので、視覚的にご紹介しやすくなるのではと感謝いたします。2日目には、アクセシビリティの活用方法を練習でき、まだまだiPhoneの機能を使いこなせていないので、練習していきたいと思います。ビデオや電話でお話しいただいた機器を駆使した様子も大変参考になりました。合図の特徴を紹介する場面が入っているとさらにわかりやすいと思いました。

・コミュニケーション支援については初めての研修でした。DVDを見て、率直にいろいろな方法を順番に説明していたので、初めて見るには分かりやすかったです。また、いろいろな方の事例が入っていたのが良かったです。(人によって反応が異なるのもイメージ付けやすい)講義で1回聴いただけでは読み取れないことが多く、帰ってから何回か見るうちに口文字が少しずつイメージついてきました。(読めたら嬉しい)言葉だけでなく気持ちが加わる。現在は神経難病に関わることが少ないので、実際の患者さんに提供することができないですが、今後患者さんや地域で出会った方々とコミュニケーションが取れるように勉強しておこうと思いました。そのための教材として、DVDはすごくためになるものだと思います。また気管切開、四肢麻痺の方にも提供できるものがたくさんあり、明日からの臨床に繋がれそうです。自分の今までになかった視点の気づきがたくさんあったこと、振り返る機会になりました。

・コミュニケーション障害があると、つい「道具」に飛びつきがちですが、その前提となることに改めて気づきました。

- ・今まで人任せだったものが少し自分でできるという自信になりました。
 - ・実際の講義だけでなく、いろいろな機器、スイッチなどにも見て触れ、尋ねることができ、気づき(身の回りでもっと使えるもの)の視点が広げられたように思います。iPhone、iPad のアクセシビリティのところは理解というよりやってみることが精一杯でしたが、復習して、利用者さんでも使ってる方も多いので、お返しできればと思いました。
 - ・意思伝達装置や環境制御装置、アプリ、ソフトなどたくさん出ているが、その中でどう選ぶかや、そのもの自体を知っていないから知りたかった。ずっと持っている iPhone の機能をほとんど知らず過ごすことを止めなければと思った。苦手意識からの脱却を。
 - ・制作：これならできそうだとも思いました。手持ちの故障しているものの修理や、ピーピーエススイッチのアレンジなど、やってみたいと思います。
- 操作：とてもわかりやすかったので、すぐに整理します。
- ・ステップセミナーであるが、口文字のコミュニケーションはスピードについていけなかった。岡部さんの合図は読み取れなかった。
 - ・口文字は、それぞれの家庭で独自の決め事をしていることがわかった。でも少しずつ顔面の筋肉が低下した時には誰がどのように評価するのか疑問に思った。
 - ・ ALS の方、PPS スイッチ

最初に答えていただいた困っていることは、今回の講座を受けて解決しそうですか？

1. 解決すると思う 20

→参考になったプログラムはどれですか？

- ・全部
- ・いろいろな発想で、無理だと思わず試していってみようと思いました。
- ・制作実習
- ・ハンドブックの DVD 視聴がわかりやすく、自分のスキルの低さを実感しました。まずは練習しないと！と実感します。
- ・スイッチなどを指 1 つ動かすだけで自分の意思を伝えることができる機器をたくさん知りました。
- ・スイッチ作成。
- ・利用者さんのビデオ、電話。
- ・いろいろな意見から機器だけでなく、いろんな環境も含め考えていきたいと思います。
- ・コミュニケーション周辺機器制作演習(スイッチ)
- ・ 2 日目にいろいろなツールの紹介をしていただき、知らなかったものもたくさんありました。
- ・コール作成や文字盤テキストの紹介、その他、周りでサポートして下さった講師陣や参加者の方からいただいた情報が大変勉強になりました。
- ・ DVD、スイッチ作成、2 日目のアップルやアンドロイド、どれも普段受けたことがない内容だった。
- ・ DVD (口文字盤、透明文字盤の種類、クリック式、あかさたな方式)
- ・どんどん変わっていく情報を得ることができた。
- ・ 1 番は久住先生のお話です。
- ・スイッチの仕組みを知ることで工夫できること、スイッチの改造について、オリヒメの事、IOS の機能につ

いて。

- ・ 田代先生のお話。久住先生のお話(スイッチのアレンジアドバイス)
- ・ 制作実習は全般的に参考になりました。
- ・ スイッチ作成の講座

2. 解決しないと思う。 3

→どのようなプログラムがあればよかったですか？

- ・ もう少しいろいろなタイプの種類のスイッチを作成したかった。
- ・ 参加者の方々の困っている話や解決策を話し合える場が一例でも良いのであればうれしいです。
- ・ 銅板やエアの工夫等の理論に加えて、製作技術(加工法、何をを使うか、など)があれば良いと思う。簡単に作ることができないから、時間がかかるのだと思う。

以上